



神奈川県・港北間税会

第50回定時総会・創立50周年記念式典

｜ 日 時 ｜ 平成29年5月25日(木)

｜ 開 会 ｜ 17:00～

｜ 会 場 ｜ 新横浜国際ホテル

次 第

｜ 第1部 ｜ 総 会 17:00～

｜ 第2部 ｜ 記 念 式 典 17:45～

｜ 第3部 ｜ 祝賀会・記念演奏 18:15～





神奈川・港北間税会 会長

小山 正武

創立50周年を迎えて

本日は、公私ともにご多忙のおり、神奈川間税会の「総会、創立50周年記念式典」に、ご来賓をはじめ、多くの会員の皆様にご臨席をいただき、心より御礼申し上げます。

当会は、2つの物品税の協力が一本化され「神奈川税務署管内物品税協会」がスタートした昭和42年を源とし、爾来50年を数えることとなりました。

この半世紀、社会経済情勢の変遷とともに、我が国の税制も大きく変わり平成元年、消費税の創設とともに当会は「神奈川間税会」と改組され、現在に至りました。

本日の総会の可決をもって、当会は名称を「神奈川・港北間税会」に改め再出発いたします。

中世の頃より神奈川湊、江戸時代からは宿場町として栄えた神奈川区と、今や、横浜市の陸の玄関であります港北区の2つの行政区の名称を冠することにより、当会の更なる組織拡充を目指します。

また、安定財源として国の基幹税となった消費税制に納税者の声を反映させその定着を図り、国土の保全と地域の活性化を次の50年を見据えて次世代に継承すべく微力ながら邁進して行く所存です。

末文になりましたが、この半世紀、会の継続、発展にご尽力いただいた税務当局、歴代会長をはじめ役員、会員の皆様に哀心より御礼申し上げますご挨拶とさせていただきます。



神奈川税務署長
鈴木 安彦

御 祝 辞

このたび神奈川間税会が創立50周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

神奈川間税会は、昭和42年に発足されて以来長きにわたり、正しい税知識の普及と納税意識の高揚を目的とした活動を推進してこられ、特に、消費税創設の際には活発な啓発活動を展開され、消費税が長期的に安定した税制として定着するよう取り組んでいただき、感謝の念に堪えません。

また、神奈川間税会の今日のご発展は、歴代の会長をはじめと

する役員の皆様並びに会員の皆様方の長年にわたるご尽力の賜物であり、そのご労苦とご功績に対しまして、深く敬意を表しますとともに、このたびの創立50周年を一つの契機として、今後さらに魅力ある事業活動を展開されますことをご期待申し上げます。

むすびに、神奈川間税会並びに会員の皆様方の益々のご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

神奈川県間税会の変遷等について



《間税会の変遷》

昭和40年7月 神奈川県税務署管内第一種物品税協力会
(宝石等の販売業者の会)が設立

昭和41年9月 神奈川県税務署管内第二種物品税協力会
(物品税の製造業者の会)が設立

昭和42年4月 第一種と第二種の協力会が一本化して
神奈川県税務署管内物品税協力会が発足

昭和50年5月 青年部設立

昭和55年5月 名称を神奈川県税務署管内間税協力会に変更

昭和57年5月 婦人部設置

平成元年6月 現在の神奈川県間税会に改組

《歴代会長》

昭和42年4月～昭和54年5月 黒岩 幸衛

昭和54年5月～昭和56年4月 昼田 茂

昭和56年5月～平成元年6月 白木 功之

(神奈川県間税会に改組)

平成元年6月～平成4年6月 白木 功之

平成4年6月～平成23年6月 草山 隆造

平成23年6月～ 現 在 小山 正武